



顔の半面がまひする顔面神経まひの原因で一番多いのがベルまひですが、他に原因はありますか？



前回紹介したベルまひは、顔面の表情を作る筋肉を動かす顔面神経まひの原因として一番多く、約6割を占めています。これは一度感染した単純ヘルペスが再活性して起こるもので、比較的経過は良好ですが、後遺症が残ることもあり、早期の治療が大事です。

その次に多いのが約1割を占めるラムゼイ・ハント症候群という病気です。原因は同じくウイルスですが、こちらは一度水ぼうそうとして感染した帯状疱疹(ほうしん)ウイルスが再度活性するためです。顔面神経まひ以外にも難聴、耳鳴り、耳介に水疱を伴うこともあり、ベルま



ひより予後が悪いようで、早期の治療が大切です。特に発症72時間以内の治療が重要です。幸いベルまひと違い、予防策の一つに帯状疱疹ワクチンがありますので、かかりつけ医と相談ください。他の原因には腫瘍や外傷もありますが、

ウイルスの再活性が原因の場合はストレスや加齢などによる免疫低下や体調変化があり、生活習慣などの見直しが必要かもしれませんね。まずは急げ治療、遅療にならぬように。



朝倉病院
理事長／院長
田辺 裕久さん